

社会とのコミュニケーション

当社の事業活動である「リサイクル」を社会の皆様理解して頂けるよう努めております。

中国生態環境部視察団来社

亀山工場 製造課長 宮尻 聡

10月24日に中国生態環境部の訪日視察団メンバーがDIK本社を訪れ、技術交流会を実施いたしました。

高団長をはじめ6名の視察団メンバーが北京から来日し、森川副社長、林常務執行役員、今井技術部長代理、宮尻のDIKメンバーとダイオキシン対策やドロス処理をテーマに交流を行いました。

役人の使節団といえば、観光旅行が中心？とのイメージが先行しますが、活発な意見交換を行い、予定時間を大幅に超える会議となりました。中国生態環境部は日本の環境省と同じような活動を行っており、今回のメンバーはダイオキシンについて、日本の行政がどのように規制を行っているか？また、各企業はどのように対策を行っているかを熱心に調査されていました。

中国のダイオキシン等の環境規制値は、概ね日本より厳しく、現在、国を挙げて環境対策に取り組んでいます。IT技術に優れた国ですし、異なったアプローチで新たな環境技術を生み出すことも予想されます。リサイクルという環境事業を柱とする当社においては、今回のような技術交流を活用し、情報の入手を積極的に行うことが重要であると実感する会議でした。

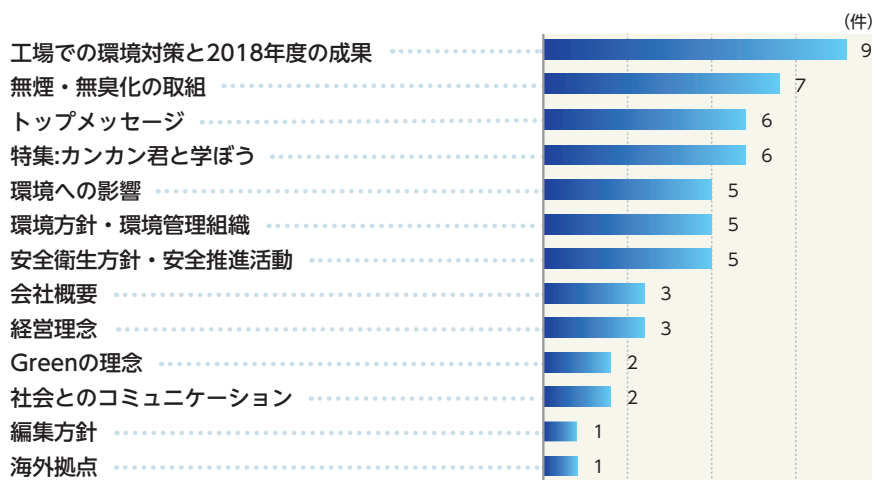


社内報でも紹介しました。



「環境報告書2019」アンケート集計結果

関心を持たれた項目



コメント

環境報告書2019のアンケートにご協力頂きありがとうございます。「工場での環境対策と2018年度の成果」が最も高く、次いで「無煙・無臭化の取組」と各工場の取り組みの項目に関心を持って頂いた結果となりました。賜りましたご意見は全て更なる活動を期待している内容でした。各工場では皆様に関心をもって頂いていることを更なる励みに今後も新たな取組について、積極的に発信していきたいと考えております。